

## **ツマベニチョウだより第18号**

今年になって初めての「ツマベニチョウだより」をお届けします。お陰様で次のような有難いことが続き、順調に滑り出しました。

### 新聞でツマベニチョウのことを報道していただきました。

1月の中旬と下旬に、西日本新聞と宮崎日日新聞の2社から取材に来られ、ツマベニチョウの増殖・誘引のこと等について報道して下さいました。一般の方々のツマベニチョウに対する認識が深まったと思います。

### インターネットのホームページに「ツマベニチョウだより」が載っています。

この程、私もパソコンを始めました。インターネットでチョウの項目を検索しましたところ、「ツマベニチョウだより」の全号が出て来ました。驚いて読みながら第1号をお届けした頃、お届け先の小松孝寛様から「これを公表してよいか」と了解を求められたのを思い出しました。世界中に張り巡らされたインターネットの網のなかに取り入れて下さいました小松様に、心からお礼を申し上げます。

### MRTラジオでツマベニチョウについての放送をいたしました。

宮崎県と県環境科学協会提供のMRTラジオ番組の「こちら環境情報センター」の時間で、同センターの外山さんとツマベニチョウの話をさせていただきました。内容は別紙のとおりで、これも皆様のご理解を深めるのに役立ったことと思います。

### 大堂津平成会の皆様がギョボクの移植をして下さいました。

一昨年の秋、宮崎県に植えて貰いました猪崎鼻国定公園のギョボク50本の生育状態が悪く、何本か枯れましたので適地に移植する必要があること、ボランティア団体の大堂津平成会(日高国慶会長)の事務局長の緒方孝昭様にお話ししましたところ、11名の会員の方たちが4月8日に半日かかりで、残っていた36本全部を移植して下さいました。また同時に「チョウの餌見本帯」に、ランタナやイヌビワなど15種類の植物を植えていただきました。(その時の写真を別紙の下段に掲載しましたのでご覧下さい)。

### 旅行中の方からご支援の寄付金を頂戴しました。

宮崎駅構内にある宮崎県の環境情報センターから、「小冊子の翔べツマベニチョウをご覧になった旅行者の方からお預かりしているものがある」と、4月21日にお電話がありましたのでお伺いしましたところ、「ささやかなお手伝いをさせて下さい」との走り書きとともに5000円が入った封筒でした。恐縮しますとともに有難く使わせていただくことにしています。

### ギョボクとハイビスカスの挿し木をしました。

井上正光様ほかの方からいただいたギョボクの穂木100本と、株式会社サンメッセ日南から貰いましたハイビスカスの小枝100本を昨日までに挿し木しました。

### 鶴戸中学校にギョボク7本を植えました。

鶴戸中学校に新任された須股一信校長をお訪ねして校庭にギョボクの植栽をお願いしましたところ快く承知して下さいましたので、4月24日に2年生の苗7本を植えさせて貰いました。今後も苗が出来次第植え増しさせていただくことにしています。

## ツマベニチョウについての放送

「こちら環境情報センター」(3月9日MRTラジオ)

- 田中さん 宮崎県と宮崎県環境科学協会提供「こちら環境情報センター」の時間です。
- 後藤さん 宮崎駅フレスタ内にあります宮崎県環境情報センターの皆さんと、環境に関する様々な情報や話題をお伝えしている毎週金曜日のこのコーナー。今日は、環境情報センターの外山さん、おはようございます。
- 外山さん おはようございます。皆さんはツマベニチョウというチョウをご存知でしょうか。羽を広げた大きさは9センチから10センチになり、白い羽の先の鮮やかなオレンジ色が美しいチョウです。今日はこのツマベニチョウを日南海岸でも飛ばす活動を続けていらっしゃる宮崎市の海老原秀夫さんにお話を伺います。海老原さん、おはようございます。ツマベニチョウを日南海岸に飛ばす活動とは、どういうことをされているんですか？
- 海老原 ○ ツマベニチョウは沖縄や屋久島などに多く生息し、これまでに北限は鹿児島県の佐多岬と言われてきた南方系のチョウです。それが今では鶴戸神宮でも繁殖していることが確認され現在の北限となっています。このチョウの幼虫が食べるギョボクという木を日南海岸に植えることでその数をふやし、少しずつチョウが生息する地域を広げようという活動を続けているのです。これは人工的に繁殖させたツマベニチョウを日南海岸に放すのではなく、生息できる環境を整えることでチョウを導いてこようというものです。ギョボクはもともと日南海岸に自生している植物であり、自然の生態系を破壊するようなものではないのです。
- 後藤さん 生息できる環境を整えて、ツマベニチョウがやってくるのを待つということですね。ツマベニチョウはやってきたんでしょうか。
- 海老原 ○ はい。  
ギョボクを植え始めたのは6年前ですが、これまでに鶴戸神宮や日南海岸の富士や伊比井、内海など14の地区に600本を植え、同時に親の餌になる蜜源のハイビスカスやランタナ、ヒメノウゼンカズラ等合わせて1000本以上を植えました。  
○ 私たちの活動はチョウが自然にやってくるのを待つわけですから時間がかかって当然ですが、少しずつ宮浦地区や伊比井地区あたりでツマベニチョウを見かけるようになりました。
- 後藤さん 海老原さんをそこまで動かすツマベニチョウの魅力とはなんでしょう？  
また、活動に興味を持たれた方にメッセージがありますか。
- 海老原 ○ 魅力はツマベニチョウがとても美しいチョウであることです。私はチョウ

の専門家ではなく、県立総合博物館の生涯学習講座を受けたのが切っ掛けで、その魅力を知りました。その頃屋久島に出かけた際に、このチョウが力強く飛ぶ姿を目の当たりにし、また実際に採集して見て一層好きになりました。

- 多くの皆様のご協力を得るなかで、日南海岸にある潮小学校の生徒さんが、校内に「ギョボクの森」を作ってくれました。此処はチョウの北上にとって大事な場所と考えていましたのでとても嬉しいことでした。子供たちにとってチョウだけでなく自然をみつめる目も養われるといいなと思います。
- 日南海岸にお出での際に、ハイビスカスやランタナの花が咲いていましたら暫らく眺めてみて下さい。そこにツマベニチョウが飛んでくるかも知れません。
- 日南海岸にお住まいの方でギョボクやランタナなどを植えて下さる方がおられましたらどうぞ教えて下さい。

外山さん 海老原さんの熱い思いがありますよね。日南海岸沿線で活動に賛同される方がいらつしゃいましたら海老原さんまでお問い合わせ下さい。電話は0985-47-6532番です。海老原さん、今日はどうもありがとうございました。

海老原 こちらこそどうもありがとうございました。

( 大堂津平成会の皆さんたちです )



( 植栽風景です )

